

学校だより



平成30年度 第21号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H30. 7. 18

7月の俳句 若き日を汗の真顔の語りけり

稲畑 汀子

1 思春期講座が開かれました

7月12日(木) 5・6校時、3年生は下野市健康増進課の萩原保健師さんと助産師の竹井さんを講師に、思春期講座を行いました。子どもから大人へ変容するこの思春期の悩みの解決の一助となるように実施しています。内容としては、思春期の心と体の変化について、性感染症について、そして異性との付き合い方についてと具体的な内容にも触れました。

大切な命と向き合い、将来の自分のために自己決定できるようにという内容を真剣に聞いている生徒が多くいたそうです。

思春期講座の感想から

今回、思春期講座を受けて、命の大切さについて改めて感じることができました。「生まれる」というDVDを見て、待ち望んでいた赤ちゃんに出会えたのは、赤ちゃんやお父さん、お母さんが究極の自己決定をしたからだとなり、「自己決定」が大切だと思いました。また、出産だけでなく生活面や将来の仕事をする上でも必要だと知り、これからは自己決定していこうと思いました。それから女性に起こる変化を知ることができました。これからの将来に役に立つことを多く学べてよかったです。命がけで生んでくれたお母さんに、子育てを手伝ってくれたお父さんに、感謝をしながら日々の生活を送りたいです。

3年1組 神戸 愛美

私は今回の講座でとても素晴らしいことを学ぶことができました。命の誕生の感動は一生忘れることはありません。私もちょうど思春期あるあるのことが今起きています。ですが私はこの講座で乗り越える努力をしようと思うことができました。私はこれからきちんと自分のことを信じて、将来の自分を受け入れて、楽しく生きていけるように努力したいです。

3年2組 海老原悠夢

今日の思春期講座を受けて、たくさんのことを学ぶことができました。1つ目は、自己決定のお話のことです。たくさんの人にいろいろなことを言われる場面があると思いますが、自分の意志を大切にしていきたいと思います。2つ目は、4つのパワーのお話です。“自分の気持ちをさぐる力”“自分を認めてほめる力”“自分をコントロールする力”“自分を表現する力”、この4つのパワーを磨いていきたいと思います。これからたくさんの方の困難に会いと思いますが、自己決定をして、パワーを磨いて良い大人になりたいです。

3年3組 加藤 亜未



2 小中交流で安生先生、高橋先生、辻先生が来校しました

7月13日（金）、小中教員の交流として薬師寺小の安生先生、吉田東小の高橋先生、吉田西小の辻先生が来校し、5・6校時の授業を参観しました。小学生のときに担任してもらった生徒もいたので、休み時間は生徒が大勢集まっていました。

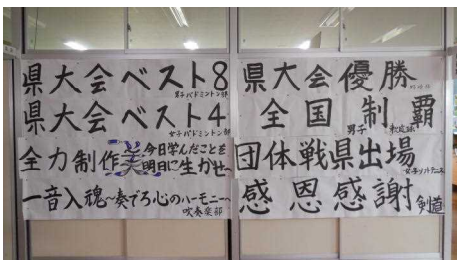
小中教員交流の目的は、教員が小学校・中学校それぞれの学校の学習や生活のしかたを理解し小学生がスムーズに中学校の生活に移行できるようにするために行っています。また、中学生として成長した姿を見てもらうこともできます。夏休み中は、小中合同の研修会を開き、それぞれの理解と、よりよい指導のあり方を検討していきます。



3 広島平和学習奉納の千羽鶴が完成しました

生徒の皆さんの協力で、8月5日から行われる広島平和学習で平和公園に奉納される千羽鶴が完成しました。今、広島県周辺は西日本豪雨の影響で大きな被害を受けています。ニュース等で映像を見ると、自然災害の脅威と、当たり前の生活が当たり前にできることのありがたさを感じます。同じように、今ある平和の大切さを忘れないようにしたいものです。

市内の4中学校と壬生町の2中学校のあわせて12人の中学2年生が参加します。平和学習や他校生との交流など積極的に活動してもらえればと思います。



左：校長室前の飾られた各部の総体の目標

中・右：卒業アルバム写真撮影から一コマ

